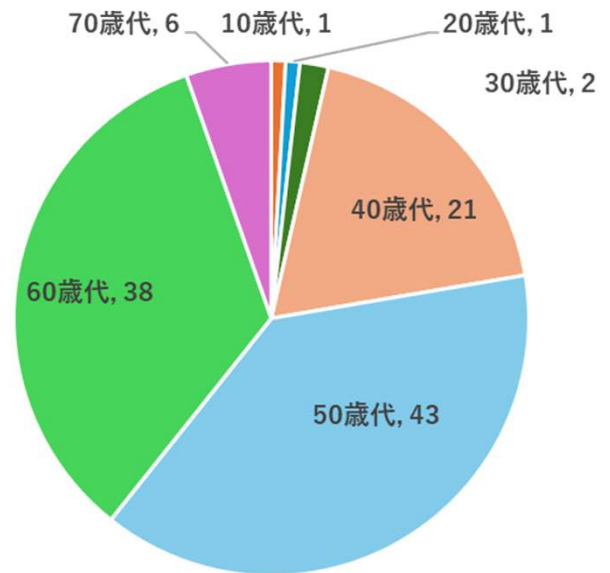


回答数 112

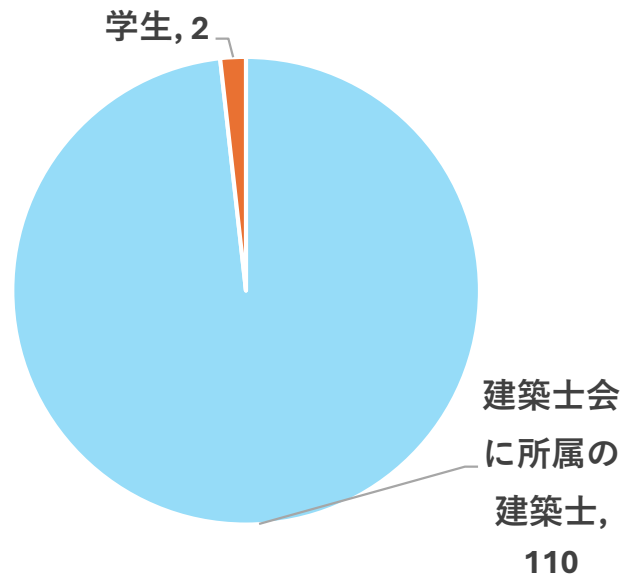
Q1.年齢

10歳代	1
20歳代	1
30歳代	2
40歳代	21
50歳代	43
60歳代	38
70歳代	6
合計	112



Q2. 所属

建築士会所属の建築士	110
学生	2



Q3. 視聴した内容

開会式	被災地報告	活動報告	基調講演 1	基調講演 2	人数
○	○	○			1
○	○	○	○		1
○	○	○	○	○	92
○	○	○		○	1
		○	○	○	1
			○	○	6
	○				1
			○		1
	○	○	○	○	7
<b>95</b>	<b>103</b>	<b>103</b>	<b>109</b>	<b>108</b>	<b>112</b>

## Q4. 視聴された内容についてご意見ご感想

30歳代	<p>基調講演がよかった／トイレの公演は身近な問題だが、多機能トイレの利用者の問題など今まで目を向けられていなかった点について考える機会となり有意義な講習だった</p>
40歳代	<p>とても参考になりました／被災地報告で最初の登壇者の方のお話が音声の不具合で聞けなかったのが残念でしたが、各内容非常に参考になりました／被災地の状況、岡山の活動を通じて、防災に対する考えを今一度話し合いたいと思いました。基調講演は、バリアフリーやインクルーシブの最新の考え方にふれ勉強になりました／トイレにクローズアップした話は大変興味深かった。特にオールジェンダー、使う人じゃなくて使い方、という考えはこれからどんどん必要になると感じた／トイレの新しい価値観を考える良い機会になった／被災地報告は現状がリアルに聞いた事で今後に活かす重要性に気付かされた。貴重公演は多様性についての課題にリアルに気付かされた／トイレの使い方について、具体的な使用や提案が聞けて、とても参考になった／とても有意義だった／報告も講演もどの内容もとても興味深く、拝聴して刺激になりました。ありがとうございます／トイレの共用について考えさせられました／トイレについては、日常的な内容で良かったです／基調講演での日建設計の方の話が面白かった／時代の変化に合わせた現在のトイレの在り方がとても勉強になりました／音声がきちんと聞こえなかったのも、こちらのPCの不具合かと思いました。無事に基調講演が聞けて良かったです／被災地報告では、災害にあった際、一般の方から専門家として建築士が相談に乗ったり、被災建物に出向くだけでも与えられる安心感がある事を知った。また常日頃から応急危険度判定士の期限等に注意し、いざという時に役に立てるようにしなくてはと改めて感じた。岡山の活動報告では、災害後継続的に地域との関わりを待ち続けていることに感銘を受け、またその様な活動こそ大切な建築士としての社会貢献だと勉強になった。基調講演は、トイレという身近なテーマながら色々な課題がある場所なのでとても興味深く拝聴した。特にTOTOの映像を使った講義は分かりやすく、これまでオストメイトの方がどの様にトイレを使用しているか全く知らなかったのも勉強になった。また使用者ごとの課題を細分化し、男女共用が良いケース、男女別が良いケースなど、設計段階で様々な検討が必要だと感じた。畑島さんの講演では使用目的で分けるという手法は面白いと思ったが、ある程度限られたコミュニティ空間でないと実践は難しいのではないかと感じた。男女共用の場合の盗撮等の犯罪防止等を考えると、全て共用スペースとする事の問題も感じた／被災地報告では甚大な被害のあった能登半島の状況や地方のNEWSでは放送されない石川県以外の被災状況、半年以上経過した現状を、そして岡山県からの水害からの備災活動の様子を知ることができ、災害の少ない自県での備えについて改めて考える機会をいただいた。基調講演では、インクルーシブな社会を目指し、誰もが生活に欠かせない「トイレ」について、その機能の変化や企業での取り組み等のお話を伺うことができ、今後の業務に活かしていこうと思った／基調講演のトイレの話はとても興味深く、考えさせられました／被災地報告、活動報告、基調講演全て、非常に今後の自分の活動に刺激になるお話でした。女性建築士が珍しくなくなりつつある現場、女性委員会や女性部会が必要かと言われることもあります。だからこそ、女性委員会、部会として何を求められているか、性別関係なく必要な活動、行動、意見が出せるものでありたいと思いました／開会式で会長のおっしゃった「女性らしい」とは何か考えながら視聴いたしました。いつも男女の差なく働きたいと考えていますが、性差というものは個人の能力とは別のところで発揮される部分もあるのでしょうか、それがなんなのかまだよくわかりません。基調講演は時世にあったテーマで興味深く拝聴しました</p>

## Q4. 視聴された内容についてご意見ご感想

50歳代

基調講演は興味深く参考になった／新しい発見がたくさんありました。ありがとうございました／視野が広がった／被災地での報告について、とても大変だったと思いますが、皆さんとても親身になって住民のために動かれていることがよくわかりました／岡山支部「活動とつながり」がとても興味深い話でした／基調講演の内容がよかった／タイトルからは想像できない公演内容でした。素晴らしかったです／基調講演が大変参考になりました。「トイレ」という具体的なテーマがわかりやすく、また、奥深いテーマでもあり、色々な事を考える良いきっかけとなりました。ありがとうございました。／わかりやすかった／基調講演2は興味深いものだった／被災地報告の実体験が響きました／多様化する日本においてトイレのありかたを様々な視点から考えさせられ、とても参考になりました／基調講演1の動画はとても勉強になりました／特に排泄環境の問題はデリケートで難しいけれど、幼稚園や小学校の時期から男性が小便器を利用せずに大きくなれば、大便でいじめが起きる問題や飛び散りの問題も解決するのでは？／視聴しようと思ってやってみたが、音声が届かず聞けなかった／被災地報告については実際に被災された方のお話を聞いた時に他人事ではないと身が引き締まる思いです。特に応急危険度判定士等の資格更新について確認し、災害時の行動についても備える必要があると痛感しました。基調講演についてはトイレの改修工事が増加しており、ジェンダーやピクトサイン、機能分割等身近な問題でしたのでとても興味深い話でした。最新の提案や柔軟な考えに目からうろこでした／全ての発表が内容の密度が高く参考になった／興味深く聞きました／とてもいい内容だと思いました。公共トイレから考える多様な人を受け入れる社会の構築がいかに重要か、それをしない社会がいかに機会損失しているのかが具体的に理解出来ました／とてもいい内容だと思いました。公共トイレから考える多様な人を受け入れる社会の構築がいかに重要か、それをしない社会がいかに機会損失しているのかが具体的に理解出来ました／有難うございます／被災地からの報告で、応急危険度判定の難しさを知り、地域防災への取り組みに建築士として関わっていきたく感じた。基調講演を聴き、パブリックトイレが抱えている様々な問題点を認識することができた／岡山県のような活発ですばらしい活動を継続するのは大変だと感じた。継続する秘訣が知りたいと思った／いずれも興味深く、拝聴しました／トイレの可能性を考える良い機会になった。他にリラックスしたりリフレッシュしたりする場がないのも問題、というお話もあったが、家で仕事をしている私にとっても、トイレに立つことは良い切り替えになるので、やはりトイレはとても重要な場所なのだなどと改めて思った／基調講演は、ジェンダーの絡む内容で、とても興味深かった／畑島楓さんのお話は興味深く、これからのあらゆる建築の考え方が変わりそうで楽しかった／トイレへの考え方がずいぶん変わったような気がします／今後の性としての認識が難しいと思いました／いつも大変勉強になります／被災地報告、活動報告共しっかりやられていると刺激を受けました。基調講演はどちらもとても勉強になりました／事務所や物販を設計する場合、「誰でもトイレ」の存在をお客様に伝えているが、設置に至った事は無い／被災地報告では、生の声を聴くことができ、改めて建築士として地震時における対応を考えさせられました。基調講演では、サブタイトルにもなっているように、インクルーシブな社会を目指していく事への人の多様性についてのお話は、とてもおもしろかったです。実際の設計部分についてもお話があったことも、すごく勉強になりました／被災地報告がとても考えさせられた。岡山県の取り組みも興味深かった／被災地報告の中、岡山県建築士会・倉敷支部の平成30年の西日本豪雨災害を機に積極的に防災減災啓発活動に取り組んでいる活動報告でした。活動の源は《わがこととして》という思いにあり町内会学校PTAメディア等への働きかけはなど素晴らしい発表でした。繋がりを持つこと、ひろげる大切さをあらためて教えてもらった報告でした／初めて参加し、女性建築士の方の活発な活動に驚きました。被災地報告では、生の声を聴き、熊本地震の時に比べ、復興への道が厳しいと感じました。陸の孤島だとも…基調講演では、トイレの計画についてインクルーシブな考えを持ちながら個々の人格を尊重する計画をしなければならないと思いました／被災地報告は毎回貴重な体験として聞いています。時間の経過と共に忘れがちですがこれで気持ちを新たにさせていただいています

## Q4. 視聴された内容についてご意見ご感想

60歳代

基調講演2が良かった／どの発表も心に残る内容でした。ありがとうございます／内容が良かっただけに、音声(音割れ、混線、別の話し声、音声遮断)と画質の悪さが、とても残念だった／非常に参考になりました／開会式、被災地報告は雑音が多く入り、聞きにくかったです。基調講演は両講師の方の内容共に興味深くトイレから社会の在り方を考えさせられました／とても興味深い講演でよかった／学ぶところが多くあった／被災地について、リアルな言葉が聞かれてよかった／埼玉建築士会女性委員会でもトイレについて勉強しているところなので、たいむりーでとても参考になりました／地域と活動報告の繋がりを持つことは大切なことと思いました。基調講演はトイレの進化と多様性について未来が楽しみです。教えていただいてありがとうございます／基調講演2の畑島さんの講演内容が良かったのは勿論のこと、ご自身の主張を大勢の方に向けて堂々と伝えられていたことは特に印象深かったです。畑島さんの目を通して、建築に新たな発見があることをこれから先楽しみにしています。一つ講演の中の疑問として、日建設計の改修後のトイレは必要数が足りていなかったのではないかが浮かびました／被災地報告、活動報告は、地域の建築士として、自らも被災する中で建築士会が組織として地域社会に貢献されていることに感銘を受けました。30年前の阪神淡路大震災では、被災者となり毎日の生活に追われていましたが、その後、災害への対応は確実に進化していると感じます。兵庫県建築士会の災害対策委員会の参考となることも多く、大変有難い内容でした。基調講演も新たな視座からのお話で大変勉強になりました。企画運営をされている皆様に心から感謝を申し上げます／被災地や、トイレに関する現状が聞けてよかった／良かった／トイレ自体のあり方への概念が変わりました／被災地報告、活動報告、基調講演、全て興味深く聴けた／基調講演をお聞きでき良い機会でした／トイレに対する考えを改めないといけないと感じた／北陸の被災地報告を県ごとに詳しく直接聞くことが出来て良かったです。基調講演は、最先端の内容と講演者さんで、期待以上の内容で素晴らしかったです。特に畑島さんの生い立ち、想いが背景にある内容でしたので、参加の皆様は温かな気持ちで聴講されたと思います／被災地報告「能登半島地震」：TV・新聞等の情報以外に被災状況や建築士会としての動きを知ることができた。平常時における行政との連携の重要性は、本県の被災後の活動でも同じであり、本会で毎年被災地報告を継続して行っていることが役立っていると感じた。活動報告「岡山県建築士会」の発表で紹介されていた”応急対応シート”を早速ダウンロードした。PTAや学校との繋がりを活かし多方面に渡って地域活動している凄さを知れた。「基調講演1・2」では、パブリックトイレの多様性、難しさ、奥深さを考えさせられた／トイレに対する考えを改めました／活動報告は、細かなところまで説明があり分かりやすかった。特に基調講演は、聞き応えあり、大変興味をもちました／被災地報告は経過がわかりやすく、また今年1月の能登地方の震災の復興が思っているように進まないもどかしさも感じました。活動報告はライフオーガナイザーとの防災についてが興味深かったです。基調講演1はトイレについての設備や仕様の最新が、2についてはジェンダーの目線だけでなく、誰でも使いやすい空間は行動に合わせて分けることが必要と思いました。良いお話を聞かせていただきました／何方も、精力的に活動されていましたが、トイレの多様性の講義には最も刺激を頂きました／日建設計の畑島氏の講演に、ジェンダーについても、個人的に考え、前向きになった様に思った／基調講演2の畑島楓さんの講演がとても印象的でした／とても勉強になりました／とても良かった／被災地報告は、継続して伺えるので、貴重だと思っています。今回特に能登の報告は改めて応急危険度判定がいつでもできるような体制の重要性を実感しました／トイレの話がとても興味深く勉強になりました

70歳代

基調講演2は非常に面白かった／基調講演1は、多目的トイレの実情がよくわかった。基調講演2は、ピクトグラム の考察からジェンダーレスの縛りから来る違和感を使う目的で設置したトイレの提案になるほどと思った。大便器から小便器へ形態が変わるアイデアは、AI時代が進んでいるのですからすぐ近くの未来の便器の姿かもしれませんね。面白かったです／たくさんいろいろなことを感じました。その中で、自分の住んでいる県は幸いなことに災害等が少ないので、もっと自分ごと化として対応できるようにすぐに始めなければと切に思いました。トイレは生きていく上でとても重要で、被災地でもしかりでたいへん貴重な講演を受講できたことを嬉しく思います。一昨日、県央の下水処理場の見学をして環境関係の方と意見の交換(トイレの話も)をしたばかりでした。ありがとうございます／誰もが使いやすい公共空間のトイレに関し、立場の異なるお二人のお話は有意義でした／たくさんのお話を知り得た

## Q5.全建女に関する具体的なご要望や取り上げてほしいテーマ、その他ご意見等

30歳代	ルールを守れない子供は託児スペースに預けてもらう様注意できませんか？講演に集中できません。
40歳代	被災地報告は続けてほしいと思います／オンライン参加できてありがたいです／家庭の事情でなかなか会場まで足を運べないので、オンライン配信してくださるのはとてもありがたいです。大変だとは思いますが今後も続けてほしいです。取り上げてほしいテーマは、屋上緑化、木造の未来、省エネと伝統工法など／アートと建築／アンケートは早めください。回答を忘れます／毎回興味深い講演会と分科会で楽しみにしています。省エネ、再エネの最新技術や最新のパッシブ手法をテーマに取り上げて欲しいです／連合会委員の皆様、事務局の皆様には、本当にお疲れ様です。いつもありがとうございます／
50歳代	働き方改革について／海外の耐震やゼロエネへの試み／災害関連死を減少させる避難所（空間）について／インテリアやデザインの話が聞きたい／変わらず続けて欲しい／防災です。特に災害が起こってからではなく、災害の際にいかに被害を少なくするか。設計や施工の段階で先回りしてできることはたくさんあると思いますので、そういったことを学びたいです／自宅介護の工夫（同居、独居 両方）／歴史的建造物の保全／他県の方と繋がれるのがありがたいです／被災地報告は大変有意義なので続けてほしいが、毎年新たな災害が起き心が痛みます／防災関係／交流の時間などもう少し時間の余白があった方がいいと思いました／インクルーシブという視点からは、移動手段を取り上げてほしいと思いました／すみません。私は当日会場参加しましたが、会場でQRコードが消えるのが早く、そこでのアンケートが出来ずまだCPDをいただけていない状況ですので回答しました。要望は、女性建築士で全建女を運営したうえで、参加者は男女問わず参加しやすい環境を構築していただきたい。そのうえで、男性が多く参加することで男性から見た意見も聞くことができ今以上に全建女が発展するのではないかと感じました。有難うございました／毎回新たな発見があり刺激となっています。ありがとうございます／とても良い内容ですので、今回の九州からのように、男性や学生の参加が増えると良いと思います。ただ、女性の立場からの発表の場は必要かと思いますが／早期に対応できる復興住宅とは？あまりにもいつも時間がかかりすぎている。その課題と改善策とこれからの取り組みなどについて知りたい／省エネ環境とコストバランスなど／全建女で発表されたもので素晴らしいものを全国大会で発表するなど、全国大会と何かしら連動というか、つながっていたらもっと日の目を見るのではと思います
60歳代	今回現地参加ができませんでした。運営の皆様には本当にお世話になりありがとうございます／女性建築士として地域に密着した役割や住民に寄り添えること／素晴らしい活動である事を男女の別なく全ての建築士に知っていただきたい／防災／建築保存に関する企業や行政との連携／交流会を名刺交換だけではなく親睦を深める為に食事会等ひらく／各種最先端の取組、災害、天候変動に伴う新たな取組の紹介など／常に災害と隣り合わせ「被災地報告」は、これからも続けてほしい／短い時間の交流会ではなく親睦を深める為に食事会等ひらくと良いと思います／女性ならではの悩み事や女性からの観点を大事にした事、災害現場での簡易トイレ等のトイレ問題や万博のような大きなイベントでの安心して楽しめる方法など今更ながら知れたらいいなと思います／普段意識しないことを学べてとても良かったです。ありがとうございました／まちづくりのコミュニティが成功している事例など／男性が参加しやすい様にしてほしい／いつも興味深いテーマを取り上げて頂きとてもいいと思います／世代別テーマなどがあってもいいのかなと思います／女性とトイレ
70歳代	素晴らしい内容でいつも勉強させていただいています／テーマの選択、ご苦労様でございます／環境に配慮した建築、そしてまちづくりについて お願い致します／インクルーシブな社会づくりに関したテーマ、建築士の役割／被災地報告は継続して取り組んでほしい